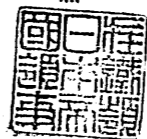


亞細亞屬  
機密第三五〇號

昭和六年七月二十八日

在 鐵 嶺

領事代理 石 塚 邦 器



外務大臣男爵 幣原喜重郎 殿

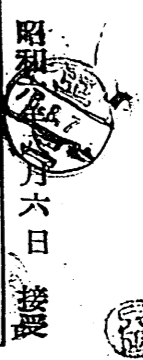
開原中學生ノ遭難中國人救済金募集運動  
ニ關スル件

開原縣教養工廠長朱子青ノ語ル所ニ依レハ同縣城内育斌中學（私立）學生四十餘名ハ二十三日午后三時ヨリ同校内ニ於テ萬寶山事件及朝鮮各地ノ暴動並ニ華人慘殺事件ニ關シ討論會ヲ開催シ其ノ決議ヲ以テ各機關ニ通電ヲ發シ其ノ他一般民衆ニ宣傳ヲ行ヒ在鮮華僑ノ罹

在鐵嶺日本領事館

S 1.1.1.0-7 1006

0341



災者救済ノ爲義捐金募集ヲ行フ目的ヲ以テ開會セル處之ヲ聞知セル縣長ハ重大ナル事端ノ發生ヲ顧慮シ該討論會ヲ制止解散セシメタルカ學生ハ其後義捐金募集運動中メシテ募集終了次第安東避難中ノ罹災者ニ送付スル筈ナリト

右何等御參考迄報告ス

本信寫送附先

奉天總領事

安東領事

在鐵嶺日本領事館

S 1.1.1.0-7 1007

(分類) 1.1.1.20-2)

G

昭和六年

六外親第一〇九八四號

昭和六年七月二十八日

長崎縣知事 小柳 牧 衛

内務大臣 安達謙藏 殿  
外務大臣 幣原喜重郎 殿  
各廳府縣長官 殿

記録姓名 萬葉山農場 三井  
排日 保

昭和六年八月 四日 接受

林

漢字新聞記事、因スル件

上海ニ於テ発行セラル、漢字新聞「民國日報」南京政府機關紙、本月廿三日付ニ「如何ニシテ日本帝國主義ヲ打倒スルカ」ト題シ去

ル二十日南京ニ於テ舉行セラレタル總理紀念週ニ於テ樓桐蔭ノナレタル演説トシテ左記要譯文、如キ記事登載シアリ御参考迄右及申(通)報候也

記

如何ニシテ日本帝國主義ヲ打倒スルカ

(要譯) 最近見聞スル所ノモノハ皆日韓暴民ノ華僑殘殺問題テアル。我等ハコノ問題ヲ明ラカニセント思フナラハ先ツ中國ノ外交上ニ於テ地位及ニ狀態ヲ明瞭ニセヌハナラヌ今自分

S 1.1.1.0-7

1027

S 1.1.1.0-7

1026

0342

カ中國ノ立場上ヨリ觀察スル時ハ帝國主義ヲ分テテハ(ハ)全濟的帝國主義ハ政治的帝國主義ノニトナス事ヲ得ル。

全濟的帝國主義ハ英米ヲ以テ代表スル事カ出  
来ルノテアワテ其ノ最後ノ目的ハ中國ノ市場ヲ奪取シ中國ノ原料ヲ壟斷シ中國ヲ彼等生産餘剩ノ放出地トナサントシテ居ル故ニ英米ハ常ニ彼等ノ全濟的利益維持ヲ目標トシ政治的領土の侵畧ニ對シテハ比較的冷淡テアル。政治的帝國主義ハ日俄ヲ以テ代表スル事カ出

来ル。中國史ヲ繙ク時中國ト事件ヲ發生シ中國々境ヲ最モ多ク擾乱シタルモノハ日俄兩國テアル。俄國ハ赤化實行ノ野心ヲ充タサン爲文化思想全濟其ノ他種々ナル方面ニ創傷百出シ民族意識未全達ノ中國ニ其活路ヲ求メントシテ居ル。数年以來外蒙古ハ既ニソウエトニ同化サレ、中東鐵路沿線各地ハソウエト俄國ノ中國侵畧ノ大本營トナリタリト云ヒ得ルノテアリ、不逞ノ中國共產黨ハ内助ノ功ヲ興ヘテイルノテアル。日本ハ則チ中國ト相接シ

S 1.1.1.0-7

1029

S 1.1.1.0-7

1028

0343

テ居ル因縁上中國ヲ乱ス事ハ他列國ニ比スレハ甚メ容易ニナシ得ルモノテアリ。其ノ暗中飛躍ニ依リ中國ヲ乱シタル例ハ幾何ナルヤヲ知ラナイノテアル。又最近日本人ハ滿州侵畧ヲ安具行セシ爲朝鮮ノ華僑慘殺事件ヲ惹起シ江西広東問題ノ未メ解決セサルニ乘レ、石友三ヲ唆唆シ之ヲ援助シ、北方ノ大乱ヲ引キ起シテ石友三ヲ東北ノ主メラシメ之ニ依リ東北侵畧ノ實ヲ擧ケントシツ、アルノテアルカ是ニ於テ我等ハ日俄兩國カ中國ニトリ最モ恐ル可キモノナル事ヲ自覺スルノテアル。

革命軍北伐以來日本人カ中國ノ到ル処ニ於テ擾乱ヲ試ミントシタル陰謀ハ實ニ俄國以上テアル。俄國ハ共產党ヲ利用シ中國ニ於テ殺人放火ヲ行ヒ數年来中國ヲシテ一種恐怖政界メラシメタノテアルカ但シ我等ハ我等ノ政治カ修明セラレ民生解決シ、党内ニ分裂ヲ生セサルニ到ラザラハ敢テ共產党タル事ヲ顧フ者無キニ到ル事ヲ信スルノテアル。歴史ニヨリ見ル時現在ノ如ク共匪ノ跋躡シ居ル状

S 1.1.1.0-7

1031

S 1.1.1.0-7

1030

0344

態ハ俄國カ中國ノ病弱ニ乘レ赤化ヲ試ミタル  
為ノ一現象ニ過キナイノテアルカ。日本ノ中國  
ニ對スル態度ハ中國カ病弱ナルト健康タルト  
ヲ問ハス常ニ侵畧ヲナサントスルモノテアル。  
日本ハ近年來經濟的不景氣ノ為ニ失業者  
増加シ、民ハ痛苦ヲ受ケ常ニ激烈ナル風激ヲ  
醸成シワ、アリ、又智識階級タル大學生、大  
學教授中ニモ共產學說ヲ唱フル者出テ時ニ  
帝國破壞ノ陰謀ヲモ試ミルニ到リタレハ日本  
當局ハ其ノ政治的地位維持ノ為國內人心ヲ外部

S 1.1.1.0-7

1032

0345

ニ發動セシメ統一ヲ期セントスルニ到リ、即チコノ  
種作用ノ一部份カ萬寶山事件、日韓暴民ノ  
率僑殘殺事件トナフテ現シメテアル。我等  
ハ既ニ知レル如ク中國ト朝鮮ハ數十年來歴  
史的關係アリ、風俗習慣ハ中國ト同一テアリ  
其ノ文化ハ中國ノ文化テアル。故ニ我等カ一度  
奮奮スルニ到ラハ朝鮮ハ忽チ日本ノ支配下  
ヲ離シ我國ノ支配下ニ來ルモノテアル。日本ハ  
之ヲ恐レルカ故ニ朝鮮人ヲ挑発シ中國人トノ  
感情ヲ惡化セシメ、今次朝鮮事件ヲ若起セ

S 1.1.1.0-7

1033

シメタモノテアリ之確カニ日本ノ陰謀ノ成功テ  
アル我等ハ是ニ於テ我等僑胞ヲ残殺シタル  
者ハ鮮人ニ非スシテ日本人ナリト認ムルノテアル  
要スルニ日本ハ不断ニ中國侵畧ヲ企圖シワ、  
アルモノニシテ今次朝鮮事件ノ陰謀ニ對シ全  
國民衆ハ甚タシク憤慨シテ居ルノテアルカ只  
單ナル口頭上ノ憤慨テハ無益ヲアル我等ハ一  
致外患ニ當ル爲ニハ先ツ各地ノ共匪ヲ肅清シ  
一衣東ヲ恢復シテ統一ヲ計リ北方ニ反動軍  
隊餘孽ヲ徹底的ニ解決シ又日本ノ種々陰陰

S 1.1.1.0-7

1034

0346

ナル挙動ヲ全國全世界ニ暴露シ國人ノ覺  
醒ヲ促シ世界ノ注意ヲ喚起セヌハナラヌ我  
等ハ又根本的工作ニ對シテハ充分其ノ責任  
ヲ負ヒ打倒目的物カ日本帝國主義ヲ事ヲ  
明瞭ニ認識シ全國人ノ精神振興 實力充  
實ヲ謀リ再ヒ日本帝國主義者ヲシテ我等  
ニ欺侮ヲ與ヘシメサル様セヌハナラヌ

S 1.1.1.0-7

1035

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人事

文書

會計

寫送先

昭和6 一〇二二〇 暗

漢口 本省 七月 二十九日後發 三十日前着

亞、通

幣原外務大臣

坂根總領事

第四九四號

當地在留外人側ニ於テハ一般ニ中國側今回ノ排日騒キヲ理由ナキモ  
「ソウバーン」ニシテ成功ノ見込乏シカルヘント見居ルカ如ク殊ニ「ソウバーン」  
事件及「ドクター・タツカー」事件モ起リ居レル折柄トテ當地及上海  
ニ於テ「ボイコット」風潮ニ對シ少ナカラス共同的義憤ヲ感シ居ル  
向多ク此際日本側ノ態度並ニ朝鮮事件交渉ノ成行ニ對シ多大ノ興味  
ヲ以テ注視シ居レリ當地英國系新聞「セントラルチャイナボースト」  
ノ論評振大要左ノ如シ

外務省

S 1.1.1.0-7

1036

記

0347

今回ノ排日モ是迄ト同シク無頼ノ徒輩ノ強奪搾取ト一部黨部關係者  
ノ横領ニ依ル金儲ニ終ラサレハ幸ナルカ中國全土ニ亘ル排日風潮ト  
善良ナル商民ニ對スル暴行脅迫私刑ノ類ハ國民政府ノ信用低下ト法  
權交渉上ノ障害トナル外何人ヲモ利スル所ナク南京政府カスノ如キ  
事態ヲ放任スル以上列國ノ中國國民ニ對スル心證益々惡化スヘシ  
穢テ思フニ今回ノ事件ハ單ニ年々歳々滿洲ニ流レ込ム多數鮮人ノ死  
活問題タルニ止マラス懶惰ナル朝鮮民族カ其郷土ニ於テ勤勉ナル日  
本人ト中國勞働者ノ生存競争ニ破レテ滿洲ニ移住スルヲ中國官憲ニ  
於テ理不盡ノ手段ニ訴ヘテ阻止セントシ剩ヘ滿蒙ニ對スル日本發展  
ヲ極力妨害セントシツツアル結果ニシテ此中國側ノ對日方針ハ兩國  
ノ利益ノ反スル所トシテ適宜交渉スルノ余地アルヘキモ滿洲ニ於ケ

外務省

S 1.1.1.0-7

1037

0348

ル極左派ノ不逞鮮人ヲ利用操縦シテ日本ノ不利ヲ圖リ更ニ進ンテ黨人其他好マシカラサル多數ノ人物ヲ朝鮮ニ張込マシメテ種々政治的ノ策動ヲナシツツアルノ現状ハ右兩國利益ノ相反スル點以上ニ更ニ寒心スヘキ事件ニシテ若シ日本ニ我慢シ切レサル迄ニ「エグザスバレート」サルルコトトモナラハ滿洲問題ヲ導火線トシテ容易ニ收拾スヘカラサル大事件トナラン

政府當路者トシテハ目前ノ小節ヲ捨テテ大局ニ著眼シ對日方針ヲ誤ルコト勿レ終リニ今回ノ「ボイコット」ニ關シテモ沈思熟考スルコト國民全体ノ爲ナルヘシ云々

(原文郵報)

奉天ヨリ哈爾濱、吉林、長春へ轉電アリタシ

外務省

S 1.1.1.0-7 1038

0349

支ヨリ上海ニ轉報アリタシ

支、北平、南京、奉天、天津、廣東ニ轉電シ濟南、重慶、長沙、宜昌、沙市、九江、鄭州ニ暗送セリ

外務省

S 1.1.1.0-7 1039

0350



電信課長

大臣

次官

亞細亞  
歐米  
通商  
條約  
情報  
文化  
人事  
文書  
會計

寫送先

昭和6 一〇二一一 暗

天津 本省

七月廿九日後着

亞通

幣原外務大臣

桑島總領事

第二七二號

在電第二五七號ニ關シ

外交後援會ハ更ニ廿七日對日經濟絕交ニ關スル具體辦法ニ付協議シ  
市商會ニ對シ再ヒ自發的日貨排斥ノ實行ヲ迫ルコトトシ一方商會ニ  
於テモ廿七日ノ通常會議ニ於テ對日經濟絕交研究會ヲ組織シ辦法ヲ  
討議スルコトニ決シタル趣ナルカ右ハ黨部及後援會ニ對スル言譯ニ  
シテ其態度今尙消極的ナルヤニ認メラル  
尙當方ヨリハ市政府並公安局及北平ニアル學銘等ニ對シ屢々反日取

外務省

S 1.1.1.0-7 1040

0351

締方申入レアル處時局柄何レモ相當取締ヲ爲シ居ル模様ニテ又最近  
市黨部ニ對シ對日感情ヲ害スルカ如キ行動ヲ執ラサル様警告シタル  
趣ナリ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

支、北平、奉天、南京へ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0-7 1041

0352

電信課長

大臣

次官

亞細亞  
歐米  
通商  
條約  
情報  
文化  
人事  
文書  
會計

寫送先

昭和6 一〇一九四 暗

上海 本省

七月廿九日後着

亞通

幣原外務大臣

村井總領事

第三六三號

工部局警察ハ壁其他人目ヲ惹キ易キ場所ニ貼付セル排日「ポスター」  
「スローガン」等ヲ反蔣「スローガン」等ト同シク剝キ取ラセ居ル  
處田島ノ報告ニ依レハ右ハ七月十八日附發令ノ結果ナリ尤モ警察命  
令ニハ排日云々ノモノト明カニ記載セス民國政府要人ヲ非難シ又ハ  
其他法律上面白カラサルモノハ云々トアリテ排日的ノモノハ後者中  
ニ含メアリトノコトナリ  
工部局理事長「フエツセンデン」ハ廿七日「上海イーブニングボス

外務省

S 1.1.1.0-7

1042

記

0353

ト」記者ニ對シ租界警察ハ租界内ニ於ケル日貨糾察隊ノ活動ハ之ヲ  
防止シ日貨ヲ不法ニ差押ヘントスル者アラハ之ヲ逮捕スヘキ旨命令

セリト語リタル由ナルカ田島ニ確カメタル處右ハ事實ナリト

北平、天津、奉天、青島、濟南、漢口、福州、廣東、南京、香港へ

轉電セリ

支へ轉報セリ

外務省

S 1.1.1.0-7

1043

0354

電信課長

大臣

次官

亞細亞  
歐米

會文人情條通歐  
計書事化報約商米

寫送先

昭和6 一〇一九八 略

上海 本省

七月廿九日後着

亞、通

幣原外務大臣

第三六五號

往電第三三一號ニ關シ

反日援僑委員會ハ廿九日會合ノ結果日貨抵制辦法ノ補足規定トシテ  
(一)工業原料必需品ニシテ現在他ニ確カナル代用品ヲ求メ難キモノハ  
各工場ヨリ其需要スル日貨ノ品名及數量ヲ報告スヘシ(二)工業原料ノ  
既約品ハ速ニ登記シ今後ノ契約ハ豫メ反日會ニ出願スルコト(三)今後  
年限ヲ定メ各業公會ヲシテ工業原料品製造工廠ヲ創設スヘク以テ逐  
年輸入日貨ノ減少ヲ計ルコト等ヲ可決シタル趣ナリ

外務省

北平、奉天、天津、青島、濟南、漢口、廣東、南京、福州、香港へ  
轉電シ、支へ轉報セリ

外務省

S 1.1.1.0-7

1045

0356

S 1.1.1.0-7

1044

0355

記

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人事

文書

會計

寫送先

昭和6 一〇二〇四 暗

上海 二十九日後發  
本省 七月二十九日後着

亞、通

幣原外務大臣

村井總領事

第三六六號

往電第三五五號ニ關シ

(一) 日貨抵制辦法ニ依レハ日本貨物ハ最早既約品ト雖荷受ケスルコトヲ得サルコトトナリ居ルモ砂糖ハ華商筋ニ於テ今尙引取り居レリト但綿糸布ハ地方宛船積ノモノ多少アルモ地元ニ於テハ二十四日日本綿花ノ綿糸抑留以來荷動キ絶ヘタル由

(二) 金物同業公會ハ二十七日「ボイコット」ニ對スル去就決定ノ爲會合セルカ排貨ヲ唱ヘシハ極少數ノ者ニテ一般ニ氣乘リセサリシモ

外務省

去リトテ「ボイコット」ニ反對ナリト押切リテ言フ者モナク結局判然タル態度ヲ決定スルニ至ラサリシ由

(三) 一般華商ハ三井三菱ニ於テハ既ニ茲二三ヶ月分ノ商内ヲ了シ居ルニ付若シ排貨運動カ長引カスシテ終熄スルニ於テハホク々々モノナリト漏ラシ居レリ御參考迄

北平、奉天、天津、青島、濟南、漢口、南京、廣東、香港へ轉電シ支へ轉報セリ

外務省

S 1.1.1.0-7

1047

0358

S 1.1.1.0-7

1046

0357

電信課長

昭和6 一〇二〇六 略

上海 本省

廿九日後發  
七月廿九日後着

亞、通

大臣

幣原外務大臣

村井總領事

次官

第三六七號

亞細亞通

往電第三五三號ニ關シ

歐米

通商

條約

情報

文化

人事

文書

會計

寫送先

廣洽卿ノ回答ハ廿八日「イブニング、ポスト」紙上ニ發表セラレタルカ右ハ「ウ」ノ排日運動真相ノ研究不十分ニシテ其觀察ニ誤謬多ク又殊更日本ノ意ヲ迎ヘントスルコト及其國際的確執ヲ助長セントスル傾向アルコトヲ遺憾トシ支那問題研究ニ際シテハ常ニ冷靜ナル態度ヲ持セラレンコトヲ希望スト云フニ在リテ「ウ」詰問ノ要點ニ觸レス極メテ抽象的ノモノナルカ之ニ對シ「ウ」ヨリハ直ニ處ノ回

外務省

S 1.1.1.0-7

1048

0359

答並ニ記者團トノ會見ハ何レモ其ノ問ハント欲スル要點ニ外レ居レリト前提シ第二回ノ公開狀ヲ發シタルカ其要旨ハ

一、排日「ボイコット」ハ唯法律無視ト暴力ト司法機關ノミ有スル權限ノ篡奪ニ依リ「ア」ミ遂行セラルルモノナルコトハ貴下ノ充分熟知シ居ラルル處ナルヘク

二、果シテ然ラハ貴下ノ主宰セル反日團ニ斯ル法律度外並ニ暴力行爲アリタル場合（排日團ハ現ニ不法奪掠ヲ開始セリ）貴下ハ尙法治ノ機關タル工部局市參事會員トシテ止マルカ將又生命財產ニ關スル不法干涉ヲ是認シテ反日會委員長タルコトヲ固持セントスルカヲ問ハント欲スルモノナリト述ヘ居レリ

尙虞ハ當地紳商トシテ從來内外人ヲ信望ヲ擔ヒ居タル處本件ニ關シ

外務省

S 1.1.1.0-7 1049

0360

寫送先

會文人事文化情條通歐亞  
計書事化報約商米細亞

電信課長

大臣  
次官

幣原外務大臣

第三六八號

昭和6 一〇一九九 暗

上海 本省

七月廿九日後着

亞通

村井總領事

當地ニ於ケル今次ノ排日運動ハ最初反日援僑會ニ依リテ提唱セラレ  
次テ市商會ニ於テモ反日決議ヲ爲スニ及ヒ二個ノ排日主動團體存立  
スルニ至リ反日會ハ執行委員及設計委員アリ又市商會ニ於テモ今般  
日貨抵制辦法研究委員及檢査委員ヲ各當業者中ヨリ夫々選任シ居リ  
日本貨物ノ登記ノ如キモ市商會ニ於テハ同會會員ノミノ登記ヲ受理  
シ其他ノモノハ反日會ニ登記スルコトニナリ居ル等ノ事實アリ他方  
當地市黨部ハ明三十日ヲ期シ「剿匪討逆反日援僑市民大會」ナル盛

外務省

S 1.1.1.0-7

1051

0362

兩者間ノ板挾ミトナリ目下頗ル苦境ニアルモノノ如ク反日會ハ近ク  
其首席辭職ヲ勸告スヘシトノ風評スラ生スルニ至レリ  
公使へ轉報セリ  
北平、南京、奉天、哈爾濱、濟南、青島、漢口、廣東、福州、天津、  
香港へ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0-7

1050

0361

寫送先

會文人文情條通歐  
計書事化報約商米

次官  
大臣

電信課長

(分類 A1.1.0.20-2)

第六九號  
往電第六七號ニ關シ  
十一日、縣黨部召集會議ニテ決議セル反日會ハ二十五日第一回委員會ヲ催シ各委員部署擔任等ヲ決定セルカ依然黨部カ采配ヲ振り省立中學校等迄加フル等中國側ノ所謂民衆運動ニハ非スシテ此前ノ時同様省政府ヨリ經費ヲ支辨スル省黨部カ手製ノ反日會ヲ組織シテ官民各機關ヲシテ參加セシメ省政府ハ何等掣肘シ得スト稱スルコト何等變リナキカ如シ右ニ付林知淵ハ本官申入レノ結果直ニ楊樹莊ニ報

幣原外務大臣

田村總領事

昭和6

一〇二一四

暗

福州  
本省

二十九日後發  
七月二十九日後着

亞、通

記

手記  
排日會  
田村

外務省

S 1.1.1.0-7

1053

0364

澤山ノ内容アル會合ヲ開催セントスルハ尙黨部カ今回ノミ排日運動ノ圏外ニ置カレ居ル關係上風潮ノ折柄其「ブレステイヂ」ニ拘ハル惧アリトシ遲レ馳セ乍ラ立チタル感アル等從來ニ無ク聯絡統制ヲ缺キ居レルカ如シ御參考迄  
北平、奉天、天津、青島、濟南、漢口、南京、廣東へ轉電シ支へ轉報セリ

外務省

S 1.1.1.0-7

1052

0363

告セルニ楊モ本問題ノ如キハ専ラ中央ノ意ヲ体スヘキ筋合ナレハ一方黨部ニ懇談シテ手心ヲ加フルト共ニ外交部ニ請訓セル處民衆運動ニ對シ一概ニ抑壓スル必要ナキモ越軌行動ニ付テハ取締ルヘシト回訓アリタルニ付重ネテ反日會ノ存在ハ許スヘキヤト再應請訓セルニ對シテハ未タ回訓ナシ廈門ニ於テハ反日宣傳大會ノ名儀ヲ用ヒタルニ依リ斯カル名儀ヲ用フルハ不穩ナルニ付林司令ヲシテ取締ラシメ置ケリ當地反日會ニ付テハ重大ナル行動ニ付テハ其都度黨部ヨリ省政府ニ下打合セラ爲スコトニ話合付キ居ルニ付越軌行動ハ阻止シ得ル積リナレハ安心アリタシト電話内報シ來レルニ付一層ノ取締勵行ヲ求ムルト共ニ兩國政府間ニ現ニ交渉進行中ノ外交案件ニ付政治組織ノ母体タル黨部カ民衆運動ト稱ヤシテ相手國ヲ誹謗シ通商ヲ阻害

外務省

S 1.1.1.0-7 1054 0365

スル目的ヲ以テ組織スル反日會ハ不法ノ越軌團體タルコト明カニシテ其活動力越軌ナリトカ越軌ニ非ストカ區別スルコトハ無用且不可能ナルハ從來ノ例ニ徴シ明カニ付充分取締方重ネテ注意シ置キタリ大体ニ於テ上海ノ形勢ニ左右サルヘク未タ實行期ニ入ラス氣乗薄ノ模様ナリ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ  
支、南京、廈門へ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0-7 1055 0366



電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人事

文書

會計

寫送先

昭和6 一〇二二三 暗 濟南 本省

廿九日後發 七月廿九日後着 亞通

幣原外務大臣

西田總領事

第一三〇號

在電第一二六號ニ關シ

本廿九日本官韓主席ニ會見シ萬寶山朝鮮事件ニ關聯シ當地ニモ反日護僑會籌備處設置セラレ來月二日市民大會ヲ開キ排日排貨ヲ行ハシ形勢ノ如ク見受ケラルル處萬寶山等ノ事件ハ累次申入レ置キタル通リ帝國政府ハ被害者ノ救恤保護等ニ努メタル結果既ニ朝鮮方面ハ平靜ニ復シ目下兩國政府間ニ於テ善後措置交渉中ニシテ且當時被害者ハ死者百名計リ傷者百餘名ニ過キサルニ中國新聞等ハ死傷數千又ハ

外務省

1056

0367

8 1.1.1.0-7

日本人ノ教唆アリタルカ如ク誇大ニ宣傳シ真相ト全然異ナル記事ヲ

掲載シ居ルハ甚タ面白カラサルノミナラス之ヲ排日ノ材料トスルカ

如キハ兩國親善關係ヲ阻害スルコト極メテ大ニシテ且此種排日排貨

ハ從來反日會員ト稱スル分子ノ橫暴行爲ヲ助長シ中國商民ヲ害スル

ノミナラス斯ル不法團體ノ行動ニ依リ當地日中間ニ紛糾ヲ惹起ス

ルハ未然ニ防止スルノ要アリ右ハ貴官ニテ既ニ考慮中ノ事ト思考セ

ラルルモ特ニ充分取締アリタシト注意ヲ喚起シタルニ對シ韓ハ當地

反日會ノコトハ未タ報告ニ接シ居ラサルヲ以テ承知セサルモ萬寶山

事件ハ目下兩國政府間ニ善後措置交渉中ニテ其經過サヘ不明ナルニ

拘ラス之ヲ資料トシテ排日排貨ヲ行フコトハ素ヨリ誤謬ナルモ右ハ

上海、南京、青島、芝罘等ニモ行ハレ居ルニ付黨部等ニ於テ當地ノ

外務省

0368

1057

8 1.1.1.0-7

寫送先

大臣  
次官  
電信課長  
亞細亞  
歐米  
通商  
條約  
情報  
文化  
人事  
文書  
會計

電信課長

第三六九號

幣原外務大臣

昭和6 一〇二二一 略

上海 本省

廿九日後發  
七月廿九日後着

亞通

村井總領事

當地各漢字紙ハ排貨運動ノ經過及事實ニ付テハ連日報道シ居レルモ其ノ可否ニ關シ論及セルモノ全然之無キ處中國系ノ「チャイナブレ」ハ廿九日其社説ニ於テ目下着々進捗中ノ排日運動ハ萬寶山及朝鮮事件ニ關スル中國人ノ公憤ヨリ發シ政府ノ後楯タラントスルモノニシテ其動機ハ素ヨリ同情ニ價スルモノナルモ反日會トシテハ排日運動カ如何ナル程度ニ於テ政府ノ對日交渉ヲ援助シ得ルヤヲ考慮スルヲ要ス上海反日會ハ要スルニ私設團體ナルカ故ニ其日貨抑留並ニ

外務省

S 1.1.1.0-7

1059

0370

ミ默シ居ルコトハ出來スト考へ御座成りのニ行フコトアルヤモ知レサルニ付取調ノ上市長等ニ命シ充分取締ラシメ無用ノ紛議ヲ惹起セシメサル様注意スヘント答ヘタリ右不取敢支ヨリ上海へ轉報アリタシ支。北平。南京。青島。奉天。天津。漢口。廣東へ轉電シ、芝罘へ暗送セリ

外務省

S 1.1.1.0-7

1058

0369

寫送先

會計 文書 人事 文化 情報 條約 通商 歐米 亞細亞

大臣 次官

電信課長

違反者處罰規程ノ如キハ日本側ヲシテ本件交渉上有力ナル反對抗議ノ根據ヲ與フヘク誤レル愛國心ハ政府ヲシテ本件交渉ヲ却テ不利益ノ地位ニ陥ラシムヘシ尙又排貨運動ハ日本ノミナラス支那民衆自身モ苦シマシムルモノニシテ其ノ資本ト勢力トヲ正當ナル國際貿易ノ爲ニ投下セル一般商民ハ反日會ノ命令アリタレハトテ直ニ其命令ニ服従スルカ如キ事能ハサルヘク又若シ排日ノ遂行ニ依リ當地日本紡績工場カ全部閉鎖スルカ如キ事アル場合ニハ數千ノ支那工人ハ直ニ糊口ニ窮スルニ至ルヘシ之ヲ要スルニ外交部ヲ困難ニ陥ラシムルカ如キ行動ハ斷シテ贊成シ能ハサル旨論評セリ

北平、奉天、天津、青島、濟南、漢口、福州、廣東、南京、香港へ轉電シ支へ轉報セリ

外務省

S 1.1.1.0-7

1060

0371

昭和6 一〇二二二 暗 上海 二十九日後發 亞、通  
本省 七月 三十日前着

幣原外務大臣 村井總領事

第三七〇號  
往電第三五一號ニ關シ

反日會爲抑留セラレタル日本綿花會社綿絲二十俵ハ當方交渉ニ依リ中國官憲カ即時返還スヘキ旨ヲ言明シ居ルニモ拘ラス反日會側ノ態度強硬ニテ今ニ返還セラレス目下督促中ナル矢先二十九日同社綿絲(當地本邦紡績會社製品)六十五俵漢口ニ積出ス爲本船ニ移スヘク貯積ニテ租界北京路碼頭ニ在リシ際又同日同シク綿絲六十三俵廣東ニ積出ス爲租界怡和碼頭擘留英國汽船船側迄貯ニテ運ヒ行キタル

外務省

S 1.1.1.0-7

1061

0372

寫送先

會文人文情條通歐亞  
計書事化報約商米細亞

大臣  
次官

電信課長

1.1.1.0-2



前例ニ徴スルニ當地ニ於ケル排日運動ニ對シテハ主トシテ漢字紙ノ  
記事ト宣傳員ノ渡來トニ警戒ヲ要スルモノト認メラレタルニ付過般  
來小官ハ民政長官及直接華民事務ニ當レル華民局長次長ヲ往訪シ漢字  
紙ノ激越ナル論調及煽動者ノ取締方ニ付要請シ置キタルカ次長ハ其  
後漢字紙主筆ヲ招致シ豫メ注意スル處アリ又馬來半島方面ニモ之ニ  
關シ夫々示達シ地方ニ依リテハ華人ニ對シ盲動ヲ戒ムル處アリタル

貴電第一六號ニ關シ

第一八號ノ一

幣原外務大臣

昭和6 一〇二〇三 暗

新嘉坡 本省

七月廿九日後着

通

伊藤總領事代理

外務省

1.1.1.0-7

1063

0374

際何レモ黃浦工場ヨリ「ランチ」ニ依ル反日會検査隊現ハレ解上ノ  
同社使用中國人ヲ脅迫シ當館ノ證明書ヲ無視シテ貨物ヲ強奪シ浦東  
側所在反日會所屬倉庫ニ抑留セル事件發生セルニ付時ヲ移サス當館  
警察署員ヲ會社ノ者ト共ニ公安局員同道現場ニ赴キ釋放方交渉セシ  
メタルモ反日會側ハ取合ハス公安局員モ施スヘキ術モナク僅ニ抑留  
貨物ニ對スル領收書ヲ徴シ得タルニ止マル趣ナリ日本綿花會社綿絲  
ノ抑留セラレタルモノハ前顯往電ノ分ト共ニ三件合計二百四十八俵  
ナリ引續キ嚴重交渉スヘキモ不取敢  
北平、奉天、哈爾濱、吉林、間島、天津、青島、濟南、南京、漢口  
廣東ニ轉電シ支ニ轉報セリ

外務省

1.1.1.0-7

1062

0373

寫送先

會文人文情條通歐亞  
計書事化報約商米細亞

次官 大臣

電信課長

類 41.1.0.70-2

第一八號ノ二

幣原外務大臣

昭和6 一〇二〇一 暗

新嘉坡 本省

廿九日後發 七月廿九日後着

伊藤總領事代理

通

サレド目下ノ處團體的運動トシテハ具體化セリト認メラルモノ未  
無キモ「味ノ素」取扱華商カ其看板ノ取下シ方ヲ脅迫セラレタル  
華商中邦商トノ小口取引契約ノ取消ヲナセル者アリタル事又當地  
臺銀支店側面ノ壁ニ打倒帝國主義云々ノ落書ヲナセル者アリタル程  
度ナル處他方華人總商會ハ朝鮮ヨリ避難歸國セル中國人救濟資金問  
題ヲ一議案トシテ廿四日集會ヲ催セルカ當日降雨アリタル等ノ關係  
モアリ參會者僅ニ八名ナリシ爲流會トナリタルモ近ク秘密裡ニ會合

外務省

S 1.1.1.0-7 1065

0376

趣ナリ而シテ當地方面ニ於ケル漢字紙ハ論說等ニ直接排日煽動的記  
事ヲ掲載スルニ於テハ發行停止ニ遭フ虞アルヲ以テ主トシテ上海南  
京方面ヨリノ特電トシテ又最近ハ同方面ノ記事轉載トシテ自由且巧  
妙ニ中國内地ノ氣勢ヲ傳へ居レリ(續ク)

外務省

S 1.1.1.0-7

1064

0375

外務省

(秘)

陸自文  
電報

陸自文

七二八、右、七二九  
上海、佐、武、友

朝鮮  
柳

支那ハ二一早  
當地ニ於テハ排日ボイントトハ反日援僑會カ連日行  
動ヲ行ヒテア、拘ヲ日、偵、糾、察、隊ノ行動著ク  
緩慢ニシテ活動シ、ナルハ右、修、庫、場、及、南、區、浦、東  
ニシテ、今日迄口貨ノ拘留セラルルハ、極ナテ少ク  
當地一般ノ支那人間ニ排日貨行動ハ不合理ナ  
トシテ、及、對、氣、勢、昂、マ、リ、ソ、ノ、排、日、巨、頭、盧、治、卿  
ハ本日新聞紙上、稍辯明的意見ヲ發表ス  
結局、今回排日ボイントト有耶、生耶、終ルニ  
非レカ、同、東、北、平、石、博、新、華、ニ、

S 1.1.1.0-7

1067

0378

外務省

ヲ催スヘキ情報アリテ本件今後ノ進展ハ之ヲ未タ豫測シ得サルモ樂  
觀ヲ許ササルモノアリ  
大體右ノ如ク當方面ニ於ケル趨勢ハ一ニ上海方面ニ於ケル形勢ニ順  
應セントスルノ傾向アルヲ以テ同方面ニ於ケル事態推移ノ實情ヲ當  
方ニモ入手スルノ要アリト存セラル詳細公信  
支ヨリ上海ヘ轉報アリ度シ  
支ヘ轉電セリ

S 1.1.1.0-7

1066

0377

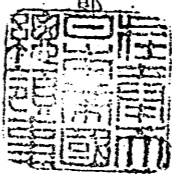
詳細要局

普通第六一八號

昭和六年七月二十九日

在奉天

總領事 林 久 治 郎



外務大臣男爵 幣原喜重郎殿

朝鮮事件ニ關スル各法團ノ對策

朝鮮事件ニ關シ當地官憲ハ各法團及各縣ニ對シ本件交渉ハ政府ノ措置ニ俟テ徒ニ輕舉盲動シ却テ國權民利ヲ失フ勿レト訓諭ヲ發シタル趣ノ處當地商工會外交後援會等、法團代表者ハ本月二十二日當地青年會館ニ會合シ各地ノ情勢報告ニ次キ遼寧各界ノ態度ヲ協議シ強硬論ヲ唱フルモノアリシモ官憲ノ注意モアリトノ理由ヲ以テ結局國貨提

在奉天日本總領事館

昭和六年八月六日 接受

拒場

1068

S 1.1.1.0-7

0379

0380

1069

S 1.1.1.0-7

唱ニ依リ事實上ノ日貨排斥ヲ行フコトヲ決議シ其機關ニハ遼寧國貨銷售處ヲ擴大シ之ヲ卸賣小賣及宣傳ノ三部ニ分チ昨二十六日ヨリ常識促進會職員之ヲ擔當シ實行ハ着手シタル趣ナルカ當地夏期ノ遊覽地タル小河沿地方ニハ既ニ「提唱國貨ハ國ヲ救フヘシ」「帝國經濟ノ壓迫ヲ打倒スヘシ」等ノ標語ヲ貼付シ居レリト云フ尙二十六日ノ成立日ニハ各界代表者ノ講演等行ハレタルカ當地公安局ニ於テハ其區域ヲ小河沿地方ニ限リ該區域外ノ宣傳ハ之ヲ禁止止シ居ル模様モアリ目下ノ處擴大ノ見込ミナキモ何等御參考迄ニ報告ス

本信寫送附先、中華民國代理公使「北平首席

在奉天日本總領事館

在間島局

機密第八五八號

昭和六年七月二十九日

在間島

總領事 岡 田 兼

兼

外務大臣男爵 幣 原 喜 重 郎 殿

朝鮮事件ニ對スル中國官民及民族共産  
兩派鮮人ノ言動等報告ノ件

本件ニ關シ其後ノ狀況左ノ通り報告ス

記

一、中國官民ノ態度

尙官意側ハ民衆ノ輕舉妄動ヲ戒メ鮮支ハ衝突事件ノ發生防止警戒

在間島日本總領事館



昭和六年八月七日 接獲

S 1.1.1.0-7 1070

0381

ニ努ムル一方鮮支人民心ノ鎮靜方ニ就テモ種々苦心シ居ル狀況  
ハ既報ノ通りナルカ尙數日前本官ヨリ商埠局長ヲ通シテ籌備處  
長ニ對シ排日風潮ノ取締、中國新聞記事ノ取締殊ニ鮮支人ノ不  
穩行動防遏ノ方便トシテ一部中國人ノ間ニ今回ノ朝鮮事件ハ日  
本カ滿蒙侵略ヲ實行センカタメ無智ノ鮮人ヲ煽動發<sup>桃</sup>シメタ  
ルモノナリト殊更日本ヲ誣ヒ罪過ヲ我方ニ轉嫁セントスルカ如  
キ中傷的宣傳及對日惡風潮ノ宣傳等ニ對スル取締指導方申入レ  
タル處右了承ノ旨及コレ等取締ニ就テハ折角善處中ナル旨籌備  
處長ヨリ電話回答シ來リ又十八日以降當地ノ如キハ商埠公安局  
員カ鮮人巡警ト共ニ在留鮮人ノ家庭ヲ屢訪シ商埠局長ノ告示ヲ  
示シテ在留鮮人ハ謠言蜚語ニ迷ハサルルコトナク安心樂業スヘ

在間島日本總領事館

S 1.1.1.0-7 1071

0382



キ旨ヲ慰撫シ廻リ又局子街ニ於テハ二十二日當局カ延吉譚演處  
ニ民衆ヲ集メ謠言流布ノ不可ヲ説キ自今徒ラニ民心ヲ動搖セシ  
メ且ツ虚偽ノ事實ヲ捏造宣傳スルコトヲ嚴禁スル旨訓話シタリ  
トノコトニテ一般ニ官憲ノ態度ハ今日迄ノトコロ格別奇怪ノ點  
ヲ認メサル状態ナリ

然ルニ民間方面ニ於テハ各地ヨリノ通信、通電、宣傳文、遊藝  
者ノ言動上海南京方面ノ排日運動ノ情報其他各種ノ新聞記事等  
相當人心ヲ刺戟スル資料逐日増加シツツアルヲ以テ一部ノ排日  
分子ハコノ機ニ乘シテ排日風潮ヲ擴大セントノ氣配ヲ示シ各地  
ニ於テ潛行的ニ排日宣傳ヲナス向キモアリ今後上海南京地方、  
及奉天吉林方面ノ排日運動ノ推移如何ニ依リテハ當地方ニ於テ

在間島日本總領事館

S 1.1.1.0-7

1072

0383

モ延邊農工商學聯合會、外交後援會等ノ民衆運動機關カ中心ト  
ナリテ縱令申譯的ニモセヨ排日運動ヲ表面化スルコトナキヲ保  
セスト思料セラル各地ニ於ケル彼等ノ言動ニ關スル其後ノ狀況  
大要左ノ通り

(以當地電話公司經理兼民聲報經理方並涵(平民俱樂部首席)カ  
時局問題ニ對シ二十日平民俱樂部ニ於テナシタル對日感想談  
要旨次ノ如シ(本館警察課知)

日本帝國ハ先頃陸軍巨頭會議ニ依リ決定セル對滿積極政  
策ニ則リ事端ニ借リテ我レニ壓迫ヲ加ヘントシ機會ヲ窺ヒ  
ツツアルコトハ顯ナル事實ナルニ付時局ニ關シ日本側ヨリ  
口實ヲ設ケラルルカ如キ行動ハ此ノ際絕對回避セサルヘカ

在間島日本總領事館

S 1.1.1.0-7

1073

0384

ラス

一、萬寶山事件ニ關シ日本側ハ故ナク多數ノ武装警察官ヲ現地ニ出動セシメ我方ノ要求アルニ拘ラス嚴然撤退セザルコトモ我方主權ヲ蹂躪セル發露ニシテ機會アラハ殺レニ一矢ヲ送ラントスル準備行爲ナリ

三、鮮内各地ニ於ケル對華僑慘虐事件ニ關シ張總領事ヨリ發カ當局ニ通報越セル所ニ依レハ平壤ニ於ケル華僑虐殺行爲ニ際シ警察官吏カ鮮服ヲ纏イテ暴民ヲ指揮シ或ハ自ラ華僑ヲ虐殺セリトノコトナルカ是レ亦顯ニ日本政府ノ對華壓迫ノ發露ナリ

四、吾人ハ當分中日交渉ノ如何ヲ傍觀シ若シ國民ノ満足スル結

在間島日本總領事館

0385

1074

S 1.1.1.0-7

果ヲ齎シ得サルニ於テハ對日經濟絶交ヲ斷行シ以テ我方國

ヨリ日本ノ勢力ヲ驅逐スルノ手段ニ出ツル要アリ

(2) 頭道溝分館警察署長ノ報告ニ依レハ十九日局子街師範學校學生李某外一名ハ排日運動ノ宣傳員トシテ頭道溝ニ赴キ同地外交後援會長李榮軒其他ノ要人ヲ屢訪シ朝鮮事件ニ就キ誇張ノ説明ヲナシタル上同夜縣立第四小學校講堂ニ於テ講演會ヲ開催シ「今回ノ事件ハ日本ノ煽動ニ依ルモノナリ」トノ題目ニテ講演ヲナシ本事件ノ報復トシテ延邊地方ニ於テモ日貨排斥ヲ斷行シ日本勢力ヲ驅逐スルト同時ニ日本ノ滿蒙侵略政策ノ先驅タル朝鮮人ヲ驅逐スル要アリトノ排日宣傳ヲナシタル後李榮軒方ニ一泊ノ上局子街ニ引揚ケタル趣ナリ

在間島日本總領事館

0386

1075

S 1.1.1.0-7

③二十一日頭道溝中國商務會ハ華韓同胞ニ告ケテ題スル左記ノ如キ排日傳單ヲ郵便局附近ニ貼付シタル趣ナリ(頭道溝分館警察詳知)

萬寶山事件ノ如キハ其レ程大事ニ非ザリシニモ拘ラス日本側ニアリテハ滿州侵略政策上故意ニ事件ヲ鮮小棒犬ニシタルモノニシテ華韓兄弟ノ眞意ヲ打破シ尙今回朝鮮地方ニ於ケル中韓人衝突事件ノ如キハ韓僑ノ故意ニ暴動ヲ起シタルモノニアラスシテ毒芽ヲ逞ウセントスル日本カ故意ニ善良ナル韓僑ヲ煽動シ直接暴動ヲ致行シタルモノナルヲ以テ中韓僑同胞ハ日本ニ利用サルルコトナク一致團結蹶起シ日本滿蒙侵略政策ニ反對スルト同時ニ日本帝國主義ヲ打倒セヨ云々

在間島日本總領事館

S 1.1.1.0-7 1076 0387

吉林華韓僑萬寶山朝鮮人討究委員會

備考

右原文ハ商埠局巡警カ之ヲ發見押收シタルカ當市内ニテ印刷シタルモノニアラスシテ局子街ヨリ送付シ來タレルモノノ如シ

(4)頭道溝外交後援會ハ本月十九日吉林省黨部及吉林外交後援會ニ對シ朝鮮事件ノ善後交渉ニ關シ左ノ通り電報シタル趣ナリ

(頭道溝分館警察詳知)

一、鮮内排華運動ニ付嚴重交渉シ居留中國人ノ受ケタル損害賠償ヲ速カニ提供セシムルコト

二、日本側ヲシテ再ヒ如斯大事件ノ發生ヲ充分警戒セシムルト

在間島日本總領事館

S 1.1.1.0-7 1077 0388

同時ニ日本ハ責任ヲ以テ在留中國人ヲ保護スルコト

三、中國官憲ノ行動ヲ嚴重監視シ畏縮媚外ノ行爲ヲ嚴禁スルコト

(5) 延邊農工商學聯合會ハ民衆ノ示威運動ヲ促進スルタメ密カニ示威運動指導委員ヲ選任シ延琿和汪ノ四縣ニ派遣シタルカ際春縣ニハ本月十五日指導委員鏡用山外一名出張シ縣教育局商務會等ヲ歴訪シ示威運動決行方内密協議シタルモ琿春縣長ニ禁壓セラレ目的ヲ果サス兩名ハ十七日不滿ヲ抱キテ延吉ニ別返シタル趣ナリ(琿春分館警察詳知)

二、民族派鮮人ノ言動

(4) 琿春分館警察署長ノ報告ニ依レハ延邊自治促進會琿春分會會長

在間島日本總領事館

6 1.1.1.0-7 1078

0389

蔡夢伍ハ同會幹部ト圖リ此際中國官民ノ甘心ヲ買フヘク七月十八日市民大會ヲ開催シタルカ其狀況左ノ通り

一、開催日時及場所

昭和六年七月十八日午前十時同日午後二時

開會、場所琿春東門内自治促進會事務室

二、集合人員

會員トシテ申込者鮮人 九十八名

傍聽者 鮮人 二十七名

同 中國人 五名

合計百三十名

三、口演要旨

在間島日本總領事館

6 1.1.1.0-7 1079

0390

イ。開會ノ辭 分會長蔡奎伍

本日市民大會ヲ開キタル趣旨ハ萬寶山事件カ導火線トナ  
リ朝鮮内地ニ於テ無智ノ徒カ在留華人ノ生命、財産ニ危  
害ヲ加ヘタル結果其ノ惡影響ハ在滿同胞全般ニ波及セン  
トスル虞レアルヲ以テ本會ハ親善策ヲ講スヘク茲ニ市民  
大會ヲ開催シタルニ付諸君ノ意見ノアル處ヲ述ヘラレン  
コトヲ希望ス

ロ。萬寶山及朝鮮事件ノ頓末報告

自治促進會編輯部主事 韓 鎰

萬寶山事件ニ就テハ新聞紙上ニテ既ニ周知セララルル通り  
ニシテ本件發生ノ爲鮮内地我同胞ハ朝鮮在留中國人ヲ排

在間島日本總領事館

0391

1080

S 1.1.1.0-7

斥シタル次第ナルカ斯即キハ實ニ無理解ナル行爲ト信スル

ノテアリマス中鮮兩民族ハ歴史的又地理的關係上到底相排  
斥スルコト能ハス朝鮮民族ハ弱少民族ナルヲ以テ中國人ト  
握手セサルニ於テハ遂ニ其安住ノ所ヲ求ムルコト能ハス然  
ルニ一小問題ヨリ大問題ヲ惹起シタルハ吾人ノ自滅ヲ計ル  
モノテアル朝鮮在留華人ノ數ハ八、九萬ニ過キサルニ反シ  
滿州ニ在ル鮮人ハ實ニ百五十萬ニ達ス若シ此ノ多數ナル同  
胞カ中領ヨリ驅逐セラレンカ吾人ハ如何ニスルカ故ニ吾等  
ハ茲ニ大會ヲ開キテ華人ト親善ヲ計ラントスルノテアル  
ハ華韓兩民族親善ノ利害

自治促進會幹事 嶺 源

在間島日本總領事館

0392

1081

S 1.1.1.0-7

萬寶山事件ニ原因シテ僻内地同胞中無智ノ徒輩カ僻内地在留華人ニ危害ヲ加ヘタル事件ハ實ニ吾人ノ遺憾トスル處ナリ何ントナレハ萬寶山地方ハ滿鐵沿線ニ屬シ從テ該地方居住華人ノ立場及思想ハ他地方ニ在ル華人ト懸キヲ異ニスル所アリ又延邊地方ト雖モ都市ニ在ルモノト僻陬地ニアルモノハ懸キヲ異ニス都市ニ在ルモノハ直接或ハ間接ノ保護機關アリテ華人ノ勢力モ稍優勢ナル觀アリサレト僻陬地ニアル華人ハ何等ノ保護機關ナク境遇ヲ異ニスルヲ以テ大ニ考慮ヲ要ス故ニ滿鐵沿線ニ於ケル一部同胞ノ被害ヲ重大視シ直チニ在僻中國人ヲ排斥スルカ如キハ最モ不利益ナル行動ナリ要スルニ互ニ相反目シ報復ヲ繰返ス中ハ結局悲慘ノ

在間島日本總領事館

8 1.1.1.0-7 1082

0393

四、決議事項

狀態ニ陥ルモノハ在滿朝鮮人ナリ因ツテ道回僻内地ニ於テ中國人ニ蠻行ヲ爲シタル者ハ憎ミテモ尙アマリアリ。而シテ其蠻行ヲ爲シタル徒ハ僻内地同胞ノ自發的ニ出テタルモノニアラサルモノト認ム若シ自發的トセハ其元氣ヲ賞揚スラント自發的ニアラスシテ某野心家ノ使喚ニ依リ蠻行ヲ演シタルモノト恩料スルヲ以テ其ノ無智ヲ悲ミ且之レヲ憎ム所以ナリ

華韓兩民族ハ益々親善關係ヲ結ビ共存共榮ヲ圖ルヲ得策トス因ツテ此際在鮮華僑ノ被害ニ同情シ臨時執行委員ヲ選舉シテ慰問及救濟方法ヲ決議セントス

在間島日本總領事館

8 1.1.1.0-7 1083

0394

(一) 遠ニ慰問文ヲ作成シ京城駐在中國總領事及朝鮮各該支新聞社ニ送付發表スルコト

(二) 本日ヨリ五日以内ニ救済金ヲ募集シ京城駐在中國總領事ヲ經テ華僑ニ送付スルコト

(三) 執行委員トシテ左記五名ヲ推選ス  
石雲山、方尙圓、張箕煥、  
金宅秉、蔡基業。

(四) 來會者ニ對シ直チニ義捐金ヲ募リタル結果金二十八圓六十五錢ヲ賺金ス

(五) 標語トシテ左ノ傳單ヲ撒布ス

在間島日本總領事館

S 1.1.1.0-7 1084 0395

一、華韓兩民ハ絶對的親善ヲ計リ國上ヲ交誼ヲ濃厚ナラシメヨ

一、全鮮暴動ヲ社會的ニ制止セヨ

一、在鮮華僑ノ被害民ヲ慰問救済セヨ

一、鮮胞ハ中國内ニ在ル弱少民族ナリ一律平等ヲ求メヨ

一、華韓同胞ハ世界被壓迫民族ト聯絡シテ解放ヲ求メヨ

五、解 散

午後二時解散ス

(四) 禪旬教化兩縣下不逞團朝鮮革命黨特別第一支部李光瑛等ハ朝鮮事件ニ對シ七月十三日左記譯文ノ通りノ警告文ヲ間埠自治促進會及支那側機關ニ郵送シ來レル趣ナリ(本館警察署譯知)

在間島日本總領事館

S 1.1.1.0-7 1085 0396

内外同胞ニ警告スル書

嗚呼痛哉近時ノ新聞ヲ見ルニ吉林省萬寶山事件ニ因リ鮮内ノ不  
識不知ノ輩ハ不具載天ノ仇敵タル日本ノ煽動ヲ受ケ暴行ヲ致テ  
シ華人ヲ排斥セル者ハ仇敵日本ノ走狗タルヲ免レサル所ナリ且  
下日本ハ露國ト所有交渉ニ失敗シ商業漁業銀行權ヲ奪ハルルニ  
至リタル以來滿蒙侵略ノ實行ヲ欲シ朝野共ニ晝夜中國ニ對シ事  
端ヲ醸シ隙ニ乘シ出兵シ中國ヲ擾亂セントスルコトハ中國ノ愚  
夫愚婦モ亦克ク之ヲ知ル所ナリ  
何ソ此ノ強盜日本ノ奸策ヲ知ラス此ニ千秋ノ羞恥行動ヲ敢テス  
ルヤ仇敵日本人ニ煽動セラレ暴行ヲ以テ鮮中五千年來ノ國難相  
繼テ來レル厚誼者失ヒタルハ人道ノ上許スヘキニアラス

在間島日本總領事館

S 1.1.1.0-7

1086

0397

若シ如斯勇敢ナル者アラハ何ソ日本ヲ撲滅國恥ヲ雪カサルヤ  
日本ノ忠奴走狗トテラサレハ幸甚ナリ

紀元四千二百六十四年七月十三日

朝鮮革命黨特別第一支部

(2) 吉林韓僑萬寶山事件討究委員會ハ左記要旨ノ通り全中國同胞ニ  
敬告スト題スル排日宣傳論文ヲ二十三日ノ民聲報ニ投稿登載セ  
リ

吉林韓僑萬寶山事件討究委員會敬ンテ全中國同胞ニ告ク  
萬寶山事件ハ極メテ小ナル問題ナリシモ長春日警ノ武装出動ト  
日本ノ煽動トニヨリ鮮内ニ排華事件ヲ惹起シ中韓感情上ノ重大  
問題ト成レリ吾人ハ本問題ノ擴大謠言百出ニ際シ慎重ニ宣言ス

在間島日本總領事館

S 1.1.1.0-7

1087

0398



ルノ必要ト護務ヲ有スルモノナリ  
韓國カ日本ニ蹂躪セラレテ以來歴史地理ノ關係上中國同胞ノ發  
勁ヲ得タルコト甚大ニシテ吾人ハ中國同胞ニ對シテハ極端ニ好  
感ヲ有シ居ルニ拘ラス不良ナル份子ハ萬寶山ト鮮内排華ノ大不  
幸事ヲ發生セリ右ハ日本ノ使曠ニヨルトハ雖モ吾人亦遺憾無  
ニ堪ヘス我等ノ調査ニ依レハ萬寶山事件ハ明カニ親日份子ノ所  
爲ニ係リ此等ノ人々ハ韓國獨立ノ最大公敵タルモノニテ日本ハ  
現在彼等ヲ利用シ中韓感情惡化ヲ計リ虛構ノ言論ヲ造ツテ鮮人  
對華僑ノ暴行ヲ煽動シ華僑慘害ノ變行ヲナセリ茲ニ痛心ノ餘リ  
左ノ如ク敬告ス  
日帝國主義ノ指揮ヲ受ケ居ル鮮人ニ對シテハ改悔シテ遠カニ萬

在間島日本總領事館

S 1.1.1.0-7 1088 0399

寶山ヲ離ルルコト並早ク國內同胞ニ向ツテ中國官民ハ萬寶山事  
件ニ對シ末々鮮農ニ何等ノ危害ヲ加ヘザリシコトヲ明瞭ニシ直  
チニ暴行ヲ停止シ以テ華僑ニ對スル好感ヲ恢復スルヲ勸告スル  
コト  
中韓僑同努力シテ極惡ノ日本滿蒙侵略ヲ打倒スルニハ先ツ第一  
ニ無耻ノ走狗份子ヲ撲滅シ然ル後方法ヲ設ケテ帝國主義者ト奮  
闘スルニアリ日人ハ現ニ「在滿日本人自主大同盟」ヲ組織シ以  
テ民衆的侵略ヲ圖リヲレリ此際吾人ハ將ニ中韓民族聯合ノ民衆  
團體ヲ組織シ民衆ノ團結ヲ以テ之ト對抗シ彼等ノ侵略ヲ消滅  
スルヲ最要ノ途ト爲ス總シテ之ヲ言ヘハ我カ中韓民族ノ幸福親  
善ハ日本帝國主義ヲ打倒スルニアラスンハ絶對ニ望ミナキヲ以

在間島日本總領事館

S 1.1.1.0-7 1089 0400

テ吾人ハ彼得無比ノ日本帝國ノ奸詐欺騙スル所トナラス共同奮  
闘以テ目的達成ヲ期スヘシ云々

三、共産黨ノ策動説

本月十九日崇禮郷倒木溝居住自治促進會員金身權ヨリ局子街居住  
同會副會長全盛鎮ニ宛テ左証要旨ノ通り流言發語アリ地方ノ人心  
恟々タル旨ヲ通信シ來レル由ナルカ右ハ共産黨ノ策動ニ因ルモノ  
ナリト傳フル向アリ

記

七月十二、三日頃ヨリ倒木溝附近ニ自治促進會幹事及元寶山朝鮮  
人民會職員ナリト自稱セル鮮人四名徘徊シ今回鮮内華僑迫害事件  
以來各地中國人ハ鮮人ニ對シ事毎ニ報復的騷迫ヲ加ヘ既ニ居住ニ

在間島日本總領事館

0401

1090

S 1.1.1.0-7

堪ヘ兼ネ鮮内ニ引揚ケタル者多數アリ、何レ當地ヘモ必然波及ス  
ルコト瞭ナルニヨリ其ノ場合斯ル奥地居住者ハ避カニ引揚避難ノ  
餘地ナカルヘク故ニ統制アル團體ヲ組織シ積極的對抗ニ出ツルニ  
非ラサレハ生命ノ保全難カルヘク遠カニ各自戰鬪用銃器ヲ入手シ  
一致團結ヲ促進セヨ云々ト無稽ノ流言ヲ放チツツアル爲無智ナル  
農民多クノ農耕ヲ控ヘ去就ニ迷ハサレツツアリ云々

以  
上

本信寫送附先 代理公使 北平 上海 南京 奉天 吉林

管下四分館 朝鮮總督 咸北知事

在間島日本總領事館

0402

1091

S 1.1.1.0-7

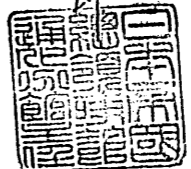
駐紮亞局

機密公第一七一號

昭和六年七月二十九日

在通化

副領事興津良郎



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

不穩文書譯報ニ關スル件

萬寶山並鮮内地事件ニ關スル柳河縣韓僑ノ聲明  
書入手別記ノ通り譯報ス

本信寫送付先

在支公使 北平首席

(分類 A.1.1.0.20-2)

昭和六年八月七日 發

別紙添附

BII

0403

S 1.1.1.0-7 1092

奉天、吉林、間島、安東、鉄峯、海龍、各公館長  
朝鮮總督府警務局長、全外事課長、平北知事  
關東廳警務局長

BII

0404

1093

S 1.1.1.0-7

譯文

東三省朝鮮僑、萬寶山及朝鮮事変ニ對シ  
中國同胞ニ對スル聲明書

現下今ヤ中韓兩民族革命、潮流日ニ沸騰ヲ加ヘ且ツ西  
民族、恆同戦線ハ日ニ堅固ヲ見ル時我等中韓双方、戦  
友ハ更ニ日本帝國主義ノ離間政策侵入、防禦ヲ加ヘ以  
テ同志相戦ヒ相互ニ残害シ敵人ニ漁夫ノ利ヲ與ヘンコト  
ヲ防シヘキナリ親愛ナル中國同胞諸君ハ皆長春ノ萬寶  
山事件及朝鮮ニ惹起セル不詳事件ヲ聽取セリヤ我等  
カモヲ聽取シタル時思ハスモ毛髮鬆然タリ然レナカラ此時  
ニ處スルニ更ニ冷靜ナル頭腦ヲ用フヘキナリ以下嚴重ナル批  
判ヲ下サニ則チ吾々中韓民族ハ切實ニ合同シテ日本帝國

BII

0405

8 1.1.1.0-7 1094

主義ヲ打倒シ獨立自由ヲ完成スルコソ根本ノ方法タリ  
我々ハ隱忍自重シテ日本人ノ奸計ニ陷ラス最後、勝利ヲ  
準備セサルヘカラス

元東東省方面ニ於テ少數、中國人カ韓僑ヲ驅逐スルハ亦中  
國々民全体ノ意思ニアラス韓國内少數、不良分子ノ日  
人ニ利用セラレテ華僑ヲ傷害シタルモ亦韓國々民全体  
ノ意思ニアラス少數、無知群集カ私利感情ヲ以テ利用  
セラレ相互ニ衝突セル者ニ過キスレテ毫モ中韓民全体  
ノ親睦感情ト革命ノ大義ヲ妨害セス故ニ先ツ事實、大  
略ヲ羅列シ以テ大方ノ参考ニ供ニ然ル後再ニ制断ヲ下  
サントス

一、萬寶山事件ノ由來

BII

0406

8 1.1.1.0-7 1095

滿鉄附近、韓僑中今春日本ノ利用シタル走狗分子ハ萬寶山三姓堡ノ稻田ヲ開拓セシカ中國當局ハ早クモ其レハ日本資本ノ侵入ナルコト明白ナルニヨリ絶對ニ水路ノ開鑿ヲ禁止シタリ於是テ彼ノ慘酷無道ナル日警ハ機關銃ヲ用ヒ我中國同胞數十人ヲ射殺シタリ此レ即チ事件ノ荦端ナリ

### 朝鮮事変ノ概略

長春ノ日本領事ハ急ニ朝鮮ニ打電シタル爲日本新聞ハ三度舞外ヲ發行シテ萬寶山事件ヲ顛倒擴大シテ記載シテ煽動ス然レナカラ朝鮮ノ各團體ハ日人ノ欺瞞ナルヲ疑ヒタリ彼ノ殘惡ノ日本鬼ハ未ダ満足セス日本消防隊ヨリテ朝鮮服ニ假裝セシメテ先鋒ニ當リ且ツ金錢

3

BII

0407

1096

S 1.1.1.0-7

ヲ以テ無知ノ不良分子ヲ賣収シ收カシ仁川ヲ初メトナシ各所ニ達シ華僑ノ家屋ヲ破壊シ華僑ノ生命ヲ慘殺シ財産ヲ掠奪ス憎ムヘキ日警ハ其ノ暴動ヲ見但シ禁止セサルノミナラス更ニ煽動ヲ加ヘタリ

### 三 現在朝鮮民衆ノ共論及事業

朝鮮内ノ各新聞社各社會團體各青年會學生團體等ハ均シク極力此次ノ舉動ニ反對シ且ツ此次ノ事件ニ聲明シテ曰ク吾々朝鮮民族ノ本意ニアラス則チ全ク日本ノ中韓ニ對スル離間政策ナリト朝鮮各團體ハ即チ一個ノ團體ヲ組織シ名ツケテ「社會團體聯合會ト云」而シテ此次ノ不次ノ不詳事件ノ對策ヲ研究シ且ツ精神物質兩方面ヲ以テ受難華僑ヲ救済シ且ツ華僑ノ恐怖ト

BII

0408

1097

S 1.1.1.0-7

苦痛ヲ慰安セシメトヨ表示ス諸君見ヨ日本ノ毒辣極マリナキコ  
トヲ韓人此ノ如ク同情セルニ日人ハ大イキ快トセス及ワテ取締  
ヲ嚴重ニセントセリ

四中國當局及言論見解ノ一節

朝鮮事件發生ノ時我副司令ハ電報ヲ以テ本省官民ニ命  
シテ曰ク「東省官民ハ必ス自重シ輕率妄動ヲナサス以テ日本  
ノ藉口ヲ避ケ且ト且ハ中國各新聞紙ハ此ノ事件ニ對シ與  
論紛々タリシカ其ノ論說ハ大概異口同音シテ曰ク「此漢  
ノ事變ハ決シテ中韓國族ノ衝突ニアラス則チ日本ノ離間  
政策云々ナリト

五我等ノ批判

中韓兩民族ハ同シク日本帝國主義鐵路ノ下ニ在リテ同

BII

0409

S 1.1.1.0-7 1098

シク弱小民族ノ地位ニ陷チタリ但ニ總理ノ遺囑アルノミ  
ナラス且ハ事勢ノ迫ル所吾々兩民族ハ共同奮闘シ以テ同  
舟ノ患ヲ免カレサルヘカラス上速ニ諸條ニ依ッテ見ルニ其ノ  
日本ノ毒辣手段ノ一ト爲スコトヲ制定スルニ足ルヘシ  
六今後中韓兩民族ノ應ニ取ルヘキ態度及共同事業  
彼ノ日本帝國主義ハ我々東方压迫民族カ一齊ニ聯合セン  
コトヲ考慮セサル時ナシ其ノ恐れハキハ中韓兩民族カ結  
合シ共同シテ日本ヲ打倒スルニ在リ於是彼ノ日本帝國主  
義ハ極力我々ノ経営ヲ破壊セントシ其ノ手段ノ妙ナル實  
ニ百態タリ故ニ我々ハ一時モ注意ヲ怠ルヘカラス而シ最モ容  
易ニ欺瞞セラレ易キハ此次ノ事件ノ一斑ヲ見テモ其ノ一例ヲ証  
スルニ足ルヘキナリ彼ノ萬寶山事件ハ純然タル日本ノ中

BII

0410

S 1.1.1.0-7 1099

國ニ對スル挑戦政策ナリ幸ニ中國方面テ已ニ其ノ野心カ  
 那邊ニ在カヲ知リタルカ故ニ從容トシテ之ニ對抗セル結果  
 乃チ意外ノ損失<sup>ハ</sup>ニ外<sup>レ</sup>ル日本ハ直ニ朝鮮<sup>ニテ</sup>朝鮮民衆ノ  
 美名ヲ假冒シ劣性ナル暴動ヲ惹起<sup>ス</sup>テ華僑ヲ加害  
 入其意ヲ用ヒタルハ此所ニアリ若シ果シテ朝鮮ニ華  
 僑ヲ加害シタランニハ則チ東三省中國人ハ必ズ報復手段  
 ヲ以テ韓僑ヲ加害シ一度此ノ計画カ實現セハ則チ日本  
 ハ此ノ藉ヲテ口實ト爲シ出兵ヲ涉スヘシ  
 親愛ナル中國同胞們我等ハ何ソ共ニ量心狭キマトヨ知ラサランヤ  
 幸ヒ我等ハ彼等ノ下劣ナル奸計ヲ看破シ自カラ對抗ノ方法アリ  
 其ノ對抗ノ方法トハ向ソヤ即チ我等ハ態度ヲ自重シ更ニ  
 中韓ノ親善ヲ加ヘ故同一致銳意努力カスヘキニ外ナラス

BII

S 1.1.1.0-7 1100 0411

共同シテ我等ノ對像ヲ打倒シ以テ敵人ニ漁夫ノ利ヲ供セ  
 ントスルヲ免カル親愛ナル中國同胞們今般我等ハ一齊  
 ニ立ツテ十分ニ兄弟等ノ努力ヲ借ラン  
 我等ハ聲高ラカニ尤ノ口號ヲ唱ヘン  
 ロ 號  
 一 中韓兩民族ハ益々親善ヲ加ヘシ  
 二 中韓兩民族ハ連ニ故國戰線ヲ結成シ以テ日本帝國  
 主義ヲ打倒セン  
 三 日本ノ難向中傷ヲ受ケス  
 四 一切ノ日本走狗分子ヲ打殺セン  
 五 萬寶山ノ韓僑ハ速ニ訪地ヲ離開スヘシ  
 六 日本ノ滿蒙侵略政策ヲ打倒ス

BII

S 1.1.1.0-7 1101 0412

南滿洲鐵道株式會社 (タイフ紙2號)



昭和六年七月二十九日 北京公所長

資料課 技 殿

北平ニ於ケル反日工作概況

北平反日常務委員會ハ廿七日市黨部ニ於テ常會ヲ開キ左ノ如キ決議ヲシタ

一、各界ノ義捐金分擔額ノ件 (原案可決)

二、各界ノ反日會經費分擔額ノ件 (原案可決)

昭和六年七月二十九日

北京公所長

支社 吉公 上小

公發用二四五號

0414

S 1.1.1.0-7 1103

(S. 4. 結川(寄))

七、中國ノ主權ヲ擁護スヘシ

八、速ニ韓僑ノ中國へ、帰化ヲ處理シ日本ヨリ一切ノ干渉ヲ受ケス

九、中國革命成功萬歳

十、朝鮮民族解放萬歳

一九三一年七月

遼寧省柳河縣全体韓僑

BII

S 1.1.1.0-7

1102

0413





三、再度通電ヲ發シ万案ニ對スル態度ノ表明  
 尙廿九日北平市總商會ノ申合セニヨリ各娛樂機關ハ自發的ニ營  
 業ヲ休業シ市内ハ戸毎ニ半旗ヲ揚ケテ万案ニ對スル哀悼ノ意ヲ  
 示シタリ



三、對日經濟絕交辦法

1、日貨處理辦法ハ元ツ新聞ニ廣告シ各界ニ通告スルコト

一、契約貨物ノ解約

二、契約未到着貨物ノ運送中止

三、代金未拂在庫貨物ノ受取停止

四、手持貨物ノ登記勸行ト暫時發賣停止

2、經濟絕交執行機關ノ件

(次問ノ討論ニ題付)

又北平總商會ニ於テモ對日經濟絕交問題ニ關シテ廿八日臨時全

體代表大會ヲ開キ左ノ決議ヲシタ

一、本市反日會館宛ノ義捐金負擔千五百元ノ支出承認

二、對日經濟實行ノ際ハ代表二名ヲ舉ケ日貨ノ調査登記ニ關シテ

反日會ヲ協助セシメ前問ノ反日會ノ積弊ヲ防止スルコト

秘

宇野浩二

八月五日 濟

電信寫

昭和6

略

上海

本省 七月三十日後着

亞

重光代理公使

第七〇一號

知照發本百九電散

第四號

本月二十三日附大臣宛機密第一三五號為ヲ以テ報告ノ如ク富方面排日狀況ハ殆ト一投活ヲ告ケ一投活ハ勿論縣、市、鐵道、海陸各級黨部モ活活ヲ守ルニ至リ市内傳單標語等ハ未タ之ヲ見受ケサリシ擬昨今ニ至リ第七師及第十二師等ノ軍部特別各黨部ノ名ニ依ル排日標語市内各所ニ見ハレ更ニ第七師黨部ノ如キハ縣黨部ヲ動カシ八月三日

ヲ期シ當地ニ於テ各會聯合ノ反日討石運動大會ナルモノヲ催スコトトナリ目下準備中ナル事アルカ漢口宛往電第五二號ノ如キ討排日運動ハ甚々不都合ナルハ勿論殊ニ之等ハ等シク石友三ノ颯起ト日本トハ深キ關係ヲ持ツト職ニ宣傳シ居ル點ハ石友三問題ノ爲軍隊ノ出入須察ナル當地トシテハ特ニ注意ヲ要スルモノト認メラル、次第ニ付中央ニ對シテモ然ル可キ機會ニ注意ヲ喚起セラル、等適當ノ備置置仰キ度シ  
參考迄ニ大臣、北平、奉天、上海、漢口、天津、南京へ傳電アリタ

S 1.1.1.0-7

1107

S 1.1.1.0-7

1106

0416

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人事

文書

會計

寫送先

昭和6 一〇二四三 略

北平 三十日前發  
本省 七月三十日後着

亞

幣原外務大臣

矢野參事官

二十九日ノ北平新報ハ「萬寶山朝鮮事件主謀者ハ長春日本領事田代ナリ」トノ見出シニテ同領事ハ中國當局トノ議定ニ反シ通水工事ヲ繼續セシメ武装巡警ヲ増派シテ遂ニ二日示威發砲セシメ同時ニリサンヲシテ誇大ノ通信ヲ爲サシメ朝鮮事件ヲ誘發シタルモチニシテ兩事件ノ首魁ナレハ嚴重抗議ノ上同領事ヲ更迭セシメ本案根本解決ヲ期セラレタシト述ヘタル中央政府宛長春外交協會ノ電報ヲ掲載セリ

支、南京、奉天、長春へ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0-7

1109

0418

外務省

S 1.1.1.0-7

1108

0417

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人事

文書

會計

寫送先

昭和6 一〇二四六 暗 福州 三十日前發 本省 七月三十日後着

亞

幣原外務大臣

田村總領事

第七號  
往電第六九號後段本官ノ再應反日會取締要望ニ對シ二十九日林知淵  
省黨部ニテハ中央黨部ヨリ反日及鮮案講演ニ付指導セヨトノ電訓  
アリタルニ基キ反日宣傳ヲ爲スハ右中央ノ意ヲ体スル次第ナリト主  
張シ居ルニ對シ省政府ニテハ右指導トハ民衆ヲ善導シ越軌ナカラシ  
ムルノ意ナリト解シ双方見解ヲ異ニシ省政府ハ中央ニ對シ反日會ノ  
存在ヲ容認スヘキヤニ付請訓セル次第ナルカ黨部ヨリ省政府ニ反日  
會ノ經費補助方請求アリタルモ之ヲ拒絕シ爾後如何ナル反日行動ヲ

外務省

S 1.1.1.0-7 1110

0419

問ハス實行ニ先立チ省政府ニ斷ハルヘク再三注意ヲ與ヘ居ルニ付不  
穩ノ行動ハ豫防シ得ヘシト語レリ何等御參考迄  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ  
支、南京、濟南へ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0-7 1111

0420

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人事

文書

會計

寫送先

昭和6 一〇二五四 平

廈門 三十日前發  
本省 七月三十日後着

亞、通

幣原外務大臣

寺島領事

第五六號

二十二日大會後商會中心トナリ準備中ノ處二十九日縣黨部ハ各界代表大會ヲ招集シ五十四團體百餘名參集商會代表 ケンジウセイ 主席ト

ナリ廈門各界反日援僑委員會組織大綱二十三條ヲ通過シ本委員會ヲ縣黨部指揮下ニ置キ上海ノ例ニ倣ヒタル如ク糾察隊調査部宣傳部等ヲ敷設ス尙二十六日以後積出ノ貨物ノ引取ヲ禁止シ即日具體的行動ニ出ツルニ決シ今朝入港セル三井扱基隆丸荷役不能トナリ目下交渉中

外務省

公使ヨリ上海、南京へ轉報アリタシ

外務省

S 1.1.1.0-7 1113 0422

S 1.1.1.0-7 1112 0421